

日本共産党
宇都宮市
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

7・8月議会報告
第61号

発行
日本共産党宇都宮市議員団
宇都宮市旭1丁目1-5
電話 632-2622
FAX 632-7753

これが行政の仕事でしょうか？ 不十分な情報で地元は困惑

JCHOうつのみや病院 譲渡問題

福田議員が一般質問 (要旨)



一般質問をする福田くみ子議員

福田くみ子議員は、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）うつのみや病院（元社会保険病院）の譲渡を中山会宇都宮記念病院が希望している問題を取り上げました。

質問では、5月9日に開催された地元説明会において、住民の意見を左右しかねない重要な情報の提供がされなかったとして、市の姿勢を質しました。

福田議員の質問は、

① JCHOうつのみや病院が地域医療・介護に果たしてきた役割は？

② 市は、なぜ、地元説明会で、宇都宮記念病院が厚生労働大臣に提出した「譲渡申請書」と、そのものを公表しなかったのか？

③ 宇都宮医師会の「譲渡に反対する」との市長の意見照会に対する回答も届いていないにもかかわらず、なぜ、公表しなかったのか？

④ 説明会に当たって、（撤退するつもりはないとする）JCHO側の意向確認はしていたのか？

⑤ 「譲渡申請書」にはJCHOうつのみや病院と記念病院の「統合後からの現状維持期間」について「5年程度」とあり、「将来的には大通地区の現病院の隣接地に総合病院を建設する」「ベッド数について、「宇都宮医療圏での最適な医療資源の配分を行う」とある。宇都宮医療圏では、ベッド過剰地域とされており、新たに記念病院が増床することは困難と考えられることから、統合後は早い時期にJCHOうつのみや病院の大方の病床を駅前通りに移転統合する計画と読める。市長の見解は？

本橋道正保健福祉部長

① 譲渡申請書は、宇都宮記念病院が、直接厚生労働省に提出したもので市は公表する立場にない。

② 市医師会に対しては、地域医療を担う立場から意見を聞いた。病院利用者の立場から意見を聞く地元説明会では、「公表しなかった」

③ 説明会で初めてなされたもので、市もその時点で確認した。

中山会の説明と譲渡申請書に大きな違いがない

市は、「譲渡申請書」の内容については一貫



うつのみや病院

「耳から聞いたこと（中山会の説明）だけを鵜呑みにし、（正式な文書である）譲渡申請書の内容も分析しない、市民にも示さない、これが行政の仕事か。」と迫りました。

また、「地域医療の崩壊を招く重大な事態となると考えている。」としている市からの意見照会に対する市医師会の回答についても、地元住民の重要な判断材料になる情報であるとし、これらの情報提供を求めました。

また、中山会が複数の政治団体に献金をしていることにも言及し、多額の補助金を受けている団体としてモラル上いかがかと質問、市は承知していないと答えました。

事前通告なしで立ち入り調査を実施 — 市独自基準定める —

とせず事件から学ぶこと



福田くみ子議員は、昨年12月の質問に続いてこの問題を取り上げました。国が、今年3月に示した「学校・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」に基づく市の対応について質しました。（今議会では、福田議員の質問の前に、金子武蔵議員も同様の質問をしています。）

福田くみ子議員

「とせず事件」から間もなく2年が経とうとしているが、新聞報道によれば、この裁判で被告は乳幼児を毛布やひもでしばったとされる暴行罪については起訴内容を全面的に認めており、人手が足りなかったことから、日常的にこのような保育をしていたものと思われる。このような悪質な事業者を見逃さない事はもちろん、すべての保育事業者が安心安全な保育を提供できるような、行政としてどうあるべきかが問われている。国が示したガイドラインに基づき、本市で起きたこの痛ましい「とせず事件」をふまえた事故防止対策について市長の答弁を求める。

川中子子ども部長

① 事故の発生防止のためのガイドラインを踏まえて、事前通告のない指導監督について、本市独自の具体的な判断基準を定め、この基準に基づき、迅速かつ的確に事前通告を行わずに、施設に立ち入ること、不適切な保育の早期発見・指導・改善に取り組んでいる。

② 検証委員会について

では、設置の準備を進める。

③ 巡回指導についても実施の検討を進めている。

福田くみ子議員

「事前通告のない立ち入り調査を行う独自の判断基準とはどのようなものか？」

川中子子ども部長

児童虐待防止法に基づく運営指針を参考に身体的・性的・心理的虐待が疑われる場合としている。

福田くみ子議員

巡回指導について、日常的な事故発生防止の取り組みとしての「巡回指導」は、事前通告なく訪問指導をするのか？

川中子子ども部長

事前通告なしの訪問指導の実施を検討している。

答弁を受けて福田議員は、

国の示したガイドラインを市は大変積極的に受け止めた対応であることを大いに評価しています。「とせず事件」は、子どもを金もつけの道具としかみておらず、また、恣意的に幾重にも隠ぺいするという大変悪質なものです。そういったことが、3年間も把握できずにいたことに対する市として「最大限の対応」と受け止めています。今後は事前通告なしの巡回指導が有効に行われるよう体制をしっかりと整備していくこと等、一日も早い具体化を強く要望しました。

掲載できなかった項目

- * 子育て日本一と教育をめぐる課題
- * LRTについて
- * 保育士の処遇改善・保育士配置要件弾力化・待機児童対策